

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 1

1. 事業名称

「PI-Forum 誌発行事業」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

PI-Forum 誌の発行により、学術分野や立場を問わず、ミクロからマクロまで、PI-Forum の定義する3つのPI(public incubation, public initiatives, and public involvement)に関心のある研究者、実務家の理論、言説、仮説などを、テーマを定めた上で収集し、定期的に共有する。

PI-Forum ではこれまで、研究者および実務家による自発的な情報交換を支援するため、ポータルサイトの構築と無償サービス提供を行ってきた。PI-Forum 誌の発行は、PI-Forum が能動的に情報を収集、拡散することにより、さらなる分野横断的情報共有を推進するものである。

昨年度は諸般の事情により発行できなかったが、本年度は第3号の印刷と、第4号の発行を目指して、原稿公募、編集を行う。

3. 事業概要

1) 概要

A. 招待原稿

編集委員が協議の上、毎号5編程度、研究論文あるいは書評の執筆を外部の専門家に依頼する。執筆者の選定に当たっては分野および研究方法論の多様性について特に配慮する。

B. 公募原稿

研究論文および事例情報については公募を行う。公募の方法は以下の通り。

発行4ヶ月前：公募情報の告知 (PI-Forum メールマガ等)

発行2.5ヶ月前：応募締切 (原稿タイトル、発表者名 (連名者名)、梗概)

(* 応募多数の場合は採否を編集委員により協議)

発行1ヶ月前：原稿締切

2) 成果物

A. 研究論文

3つのPIに関連する論文 (A4版4~8ページ程度、2段組) を収録。著作権上の問題が存在しない限りにおいて既存論文の要約も可。特に若手研究者からの積極的な投稿を期待する。

B. 事例情報

PI事例に関する簡潔な実施報告、調査報告 (A4版1~2ページ、2段組) を収録。行政及びコンサルタントの現場担当者からの投稿を期待する。

C. 書評

(必要に応じ) 専門家による関連書籍の書評 (A4版1ページ、2段組) を掲載する。

D. イベント情報

3つのPIに関連する行事予定について各方面より情報を求め掲載する。またPI-Forum主催イベントの実施報告、また他機関主催のイベントへの参加報告についても適宜掲載する。

3) スケジュール

第4号のテーマについては現状のところ未定。

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー :

松浦 正浩 (編集主幹)

2) プロジェクトチーム :

(昨年度までご協力いただいていた方々に再依頼の予定)

5. 予算計画

第3号

事業支出 : 計 66,000 円

(1) 印刷

印刷・製本(200部)(@50,000円) × 1号 = 50,000円

(2) 配布

送料(@160円) × 100部 × 1号 = 16,000円

第4号

事業収入 : 計 115,000 円

広告収入(広告価格改定)

1/4面(@25,000円) × 3件 = 75,000円、1/2面(@40,000円) × 1件 = 40,000円、

全面(@80,000円) × 0件 = 0円

事業支出 : 計 90,300 円

(1) 印刷

印刷・製本(200部)(@62,000円) × 1号 = 62,000円

(2) 配布

送料(@160円) × 100部 × 1号 = 16,000円

収支差額 : 29,000 円

6. 参考資料

特になし

7. その他考慮事項

特になし

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 2

1. 事業名称

「PI書籍出版プロジェクト」

2. 提案趣旨

より広く合意形成に対する理解を深めるための書籍を出版する

3. 事業の目的

以下の目的で合意形成に関する書籍の出版を行う。

- ・ PI-Forumのプレゼンスアップ。
- ・ 合意形成、PI、CBに対する啓発。
- ・ 法人活動におけるツール、および財政状況改善。

4. 事業概要

1) 概要

- ・ 書籍出版企画、執筆、編集、印刷、出版

2) 成果物

書籍 (店頭出版の他、献本が若干冊)

3) スケジュール

6月末まで：企画概要・材料検討

夏休み前 (7月中旬) まで：具体的な企画決定

夏休み中 (9月末までの各自余裕のある時間)：執筆

11月末まで：わかりやすさ改善のために手をいれる作業

12月以降：編集者より向こう側で作業できるものに基本的に限定

4月末 (PI-Forum 年度末) までに出版

5. 役割分担 (案)

- ・ 事業担当理事・・・菊池
- ・ 執筆・・・各理事

6. 予算計画

1) 収入

- ・ なし (年度内に印税収入が見込めない)

2) 支出

- ・ なし (買取、編集補助費、広告宣伝費の支出を避けるようにする)

7. その他

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 3

1. 事業名称

「PI-Forum 年次セミナー 2007 ~PI 評価と合意形成手法の可能性~ (仮称)」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

本事業は、合意形成の知識・実践に関心を持つ各界・各層の方々に開かれた共創の場として、2004 年度から 3 カ年に渡って開催してきた PI-Forum の最大規模の成果発表会である。

我々が蓄積してきた様々な知識や情報を広く伝えることで、PI-Forum の活動を広く知らしめると共に、PI や合意形成への関心を高め、人的ネットワークを拡大することを目的としている。

4 年目を迎える今回は、これまでの年次セミナーやワークショップを通じて検討してきた「PI 指針」及び評価項目と倫理規定を柱にして、合意形成手法の公共事業のみならず社会活動全般への応用を示すこととする。

3. 事業概要

1) 概要

日程

11月21日(水) 10:00~17:00

会場

国立大学財務・経営センター キャンパスイノベーションセンター東京

東京都港区芝浦 3 - 3 - 6 (<http://www.zam.go.jp/e00/e0000900.htm>)

テーマ

PI 評価と合意形成手法の可能性

内容

- ・PI 研修見本市 (4 テーマ、2.5 時間)

PI、交渉学、問題構造化等の市民参加や合意形成に関わる手法に関する各種研修のエッセンスや内容の一部を紹介する。希望するプログラムを4つのうちから選択するものとする。

- ・セッション1「PI 評価・倫理の実践的展開 (仮称)」

2006 年度のセミナーで公開した PI 評価の評価項目と倫理規定の更なる深化を図るため、評価のための具体的な方法論の検討、他分野の倫理規定の参照を行い、セミナー参加者からのフィードバックを得る。

- ・セッション2「合意形成手法の応用 (仮称)」

「PI 評価指針」に基づく合意形成手法が様々な社会活動 (大学経営、IT) において応用可能であることを提示し、それについて議論する。

タイムテーブル(予定)

A M	10:00 ~ 12:30	P I 研修見本市(研修のエッセンス紹介)
	12:30 ~ 13:10	昼食
	13:10 ~ 13:40	交流サロン*
P M	13:40 ~ 15:20	セッション 1
	15:20 ~ 15:30	休憩
	15:30 ~ 17:00	セッション 2

*ソフトドリンクと菓子程度を準備 名刺交換等の参加者交流の時間

参加費

1日 : 一般5千円(会員4千円) 学生3千円

午前/午後のみ : 一般3千円(会員2千円) 学生2千円

事後評価

見本市参加者及び講師に対し、研修メニューについての感想や意見、今後のニーズについてのアンケートを実施し、今後の教育・研修メニューの改善や実行の参考とする。

2) 成果物

イベント報告書

P I 評価指針(最新版)

4. スケジュール

- ✓ 6 ~ 7月: 日程及び会場の確定。協賛企業への依頼。
- ✓ 8 ~ 9月: 事前告知活動開始。関連WSの実施(8/2)
- ✓ 10月: イベント直前準備、参加受付開始
- ✓ 11月: イベント開催
- ✓ 11 ~ 12月: 成果概要のとりまとめ メルマガ発行
- ✓ 1月 ~ 3月: 最終報告書とりまとめ 開催報告 HP 掲載
- ✓ 4月 ~ 5月: 協賛各社に報告、御礼

5. 運営体制

1) 主催: PI-Forum

2) 協賛: 民間企業数社、他

3) 実施体制

プロジェクトリーダー: 田熊

個別事業の実施責任者:

- ・ P I 研修・見本市: 矢嶋、松浦
- ・ セッション1「P I 評価・倫理の実践的展開(仮称)」: 城山、矢嶋
- ・ セッション2「合意形成手法の応用(仮称)」: 田熊、梅本、田中、菊池

事務局：

- ・ 会場予約、申込み受付、備品等：篠田（ + ）
- ・ 広報：理事全員
- ・ 会計：小松

報告書作成：

- ・ レポート作成：各事業の責任者
- ・ とりまとめ：田熊
- ・ 編集：篠田

ファンドレイジング：理事全員

6. 予算計画

(単位：千円)

収入		支出	
協賛・共催	800		
参加費等	280	会場費	80
		消耗品費 + 通信費	50
		講師等謝金	90
		旅費	50
		資料作成費	30
		印刷製本費	100
		事務局経費	300
		アルバイト	40
		飲食費(ペットボトル等)	10
		交流会	10
		小計	760
		共通経費	1080 × 0.25 = 270
		小計	1030
		予備費	50
合計	1080	合計	1080

参加者 60 名、うち 3 分の 1 が会員と想定

会場において、会員募集、PI-Forum 誌等の販売などを積極的に行う。

7. 参考資料

平成 18 年度事業計画書及び事業報告書

8. その他考慮事項

7 月段階での企業協賛の可否・規模により、内容の見直しを含めて決定していく。

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 4

1. 事業名称

「合意形成技術に関する教育・研修プログラム見本市 (仮称)」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

本事業の目的は、PI-Forum がこれまで取り組んできた合意形成技術に関する研修及び新たな研修プログラムについて、体験型セミナーとして開催することで、合意形成技術に関する知識や経験のナレッジを行い、合意形成技術者の育成や人的ネットワークの拡大につなげることにする。

本事業は、土木学会四国支部合意形成委員会との共催で開催し、合意形成運営技術者の育成に係る新たな教育・研修プログラムの試行及びニーズ発掘の場とし、研修参加者による研修プログラムの評価を収集し、今後のよりよい研修プログラムの構築に寄与することとする。

開催にあたっては、本年度実施する年次セミナーの一部として実施することも含め、検討することとする。(年次セミナー予算と調整を行い、単独実施の場合もあり)

3. 事業概要

1) 概要

本事業は、毎年11月に開催されるセミナーと連動する形で開催する。

(セミナー同日開催または、隣接する前後の日に実施する)

取り組み紹介

合意形成技術者の教育・研修プログラムにかかる全国の取り組みを共催団体の協力も得ながら紹介(基調講演やパネルディスカッション形式での発表も検討)

教育・研修メニューの体験

参加者に対するアンケート等で研修メニューの選択を事前に実施し、当日参加する方のニーズや経験に合わせたメニューの体験をして頂く。

教育・研修メニューについては、PI-Forum 及び共催団体がこれまで実施してきた研修・教育メニューを体系的に整理し、提供することとする。

参加者アンケートの実施

研修参加後、講師及び参加者に対し、研修メニューについての感想や意見、今後のニーズについてアンケートし、今後の教育・研修メニューの改善や実行の参考とする。

場 所：東京都内、四国内のいずれかで検討(予算、実行メンバーによる)

参加費：一般1万円(会員は8千円)、学生5千円(予定)

2) 成果物

イベント報告書

4. スケジュール(詳細は下記の)通り

- ✓ 6～7月：日程及び会場の確定。協賛企業への依頼、予算の確定
- ✓ 7～9月：研修メニューの検討・事前告知活動開始
- ✓ 10月：イベント直前準備、参加受付開始
- ✓ 11月：イベント開催
- ✓ 11～12月：成果概要のとりまとめ(メルマガ、HP)
- ✓ 1月～3月：成果最終とりまとめ、協賛各社に報告、御礼

5. 運営体制

3) 主催：PI-Forum

4) 協賛：民間企業数社、他

5) 共催(案)：土木学会四国支部、土木学会コンサルタント委員会

6) 実施体制

担当名はあくまで案です(ご本人への説明、確認は今後実施)。今後、セミナー本体との連携を模索しながらメンバーを決定。

プロジェクトリーダー：山中英生

教育・研修メニューの検討・実施

- ・ 教育・研修メニュー検討、準備：水谷、松浦、小松、(上野)
- ・ 教育・研修メニューの実施：大学、コンサルタント等(検討結果による)

事務局(広報・受付・備品等準備)：小松、篠田

- ・ 会計・募集・申込受付等：小松、篠田
- ・ 会場予約：小松 or 篠田(開催場所による)
- ・ 実施協力(案)：土木学会四国支部合意形成委員会

土木学会コンサルタント委員会

報告書作成：各事業の実施責任者、とりまとめ：山中、編集：水谷、小松

ファンドレイジング：理事全員

- ・ トヨタ以外の協賛企業の要請を予定(アサヒビール、経済同友会)
- ・ 土木学会四国支部研究調査予算の一部活用を検討

6. 予算計画

(単位：千円)

収入		支出	
企業協賛	500		
学会予算	300	会場費	200
参加費(30名)	300	消耗品費+通信費	30
		講師等謝金+旅費	$30 \times 4 + 60 \times 4 = 360$
		印刷費	20
		事務局経費	150
		アルバイト	50
		飲食費(ペットボトル等)	30
		小計	840
		共通経費	$1390 \times 0.25 = 210$
		小計	1050
		予備費	50
合計	1100	合計	1100

✓ 会場において、会員募集、PI-Forum誌等の販売などを積極的に行う。

7. 参考資料

- ・「四国の土木技術者における合意形成運営技能の評価方法に関する研究」(社)土木学会四国支部
- ・「合意形成プロデュース～コンサルタントの新しい役割～」土木学会コンサルタント委員会

8. その他考慮事項

7月段階での企業協賛の可否・規模により、内容の見直しを含め決定していく。

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 5

1. 事業名称

「異分野 PI 交流ワークショップ (将来展望編)」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

これまで異分野交流 WS が開催されてきているが、今年度は「合意形成推進ロードマップ()」や「合意形成推進シナリオ()」といった長期ビジョンを今後検討することを念頭に置きつつ、さまざまな分野で「合意形成」に対するニーズへとつながりそうな動きとしてどのようなものがあるのかを把握するとともに、異分野間のコラボレーション促進を目的に WS を実施する。

(合意形成を推進する上で、法制度の改正や五箇年計画の策定など重要な動きを見据えた上で、どのような分野でどのような人々に、マーケティングやロビイング等の圧力を戦略的にかけていけばよさそうかを示す見取り図)

(シナリオ・プランニング技法により、超長期の視点から、わが国の「合意形成」がどのような姿になるかについて複数提示される将来像)

3. 事業概要

1) 概 要

WS を 3 回実施。

2) 成果物

WS による議論。報告書は作成しない。A4 で 1 ページ程度の要約を作成。

3) スケジュール (案)

具体的なスケジュールについては個々のプレゼンターとの調整で決定する。

テーマとしては以下のものを考えている。

8 月: IT (システム構築、インターネットガバナンスなど)

10 月: 国土交通 (交通、まちづくり、コンパクトシティなど)

2 月: 食品安全・医療 (GMO、トレーサビリティ、病診連携、医療 ADR など)

8 月開催については調整中。

総会后迅速に 10 月開催分についてプレゼンターに委嘱。

広報はポスター等を利用。広報についてはプロジェクトリーダーが責任を負う。

ほかに「気候変動対策」「税 (消費税、環境税など)」「科学技術」などをテーマとすることも考えられる。

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー:

松浦 正浩

2) プロジェクトチーム:

城山 英明

篠田 さやか

5. 予算計画

事業支出：計 210,000 円

(1) 会場費

16,000 円 / 回 × 3 回 = 48,000 円 (参考：東大山上会館 4,500 円 / 回)

(2) 謝金・交通費等(プレゼンターのみ)

12,000 円 / 人 × 2 人 × 3 回 = 72,000 円

(3) 事務補助員人件費

1,500 円 / 時 × 20 時間 × 3 回 = 90,000 円

事業収入：計 210,000 円

(1) 参加費

2,000 円 / 人 × 10 / 回 × 3 回 = 60,000 円 (会員)

2,500 円 / 人 × 20 / 回 × 3 回 = 150,000 円 (非会員)

収支差額：0 円

6. 参考資料

特になし

7. その他考慮事項

特になし

以上上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 6

1. 事業名称

「PI-Forum 連続セミナー2007 (仮称)」

2. 提案趣旨

- ・ PI-Forum が主催者となって、PI に関する各種のセミナーを6回連続のパッケージとして定期的を開催するものである。

3. 事業の目的

- ・ PI-Forum としての定期的な活動を実施し、外部への情報発信を活発化させる。
- ・ PI に関する各種のセミナーを連続して行うことにより、関心を持つ人々に対してPIに関する基本的な内容を知ってもらう場を提供する。
- ・ 公的機関、公益企業などPIに対するニーズが高いと思われる法人に参加を呼びかけることを通じて、PI-Forum の活動をPRするとともに、協賛会員となっていただくきっかけとする。

4. 事業概要

1) 概要

- ・ 開催頻度・・・1回2時間(18:30-20:30)×6回、1回/月(9月～3月)
- ・ 6回を一括にしたプログラムとして企画し募集する。(以下は、仮案)
 - 1. コミュニケーション : 聴く技術
《演習》3つの利害関心・1対1のコミュニケーション
 - 2. ファシリテーション : ファシリテーション
《演習》(ファシリテーターとしての)集会の場でのコミュニケーション
 - 3. メディエーション : メディエーションとは
《参加型》グループ討議 裁判と調停
 - 4. メディエーション : メディエーションの技法
《参加型》メディエーションロールプレイ
 - 5. 交渉学 : 立場と利害、単一 이슈 と複数 이슈
《演習》Win as Much as Possible 演習・複数 이슈 演習
 - 6. 交渉学 : マルチステークホルダー交渉
《演習》マルチステークホルダー演習

2) 成果物

A. 「連続セミナー（仮称）」資料集

B. 「連続セミナー（仮称）」実施報告書

（年次セミナー報告書のようなもの（製本して販売できるもの）を想定）

3) スケジュール

・ 6～8月の間に、関連法人、PI-ForumメーリングリストなどでPR

・ 9～3月に毎月1回定期的に実施

5. 役割分担（案）

・ 事業担当理事・・・石川

・ セミナー講師・・・入江、松浦、篠田

・ 事務局・・・篠田、（入江：協力）

・ PR活動・・・理事全員で関連すると思われる法人にPRする。

6. 予算計画

1) 収入

・ 受講料・・・600000円（50000円×12名）

・ 6回一括として、1名あたり50000円とする。

2) 支出

・ 会場費 ￥ 60,000 10,000/回×6

・ 講師謝金 ￥ 180,000 30,000/回×6

・ 資料準備 ￥ 18,000 3,000/回×6

・ 事務局人件費 ￥ 120,000 20,000/回×6

・ 備品等 ￥ 30,000 5,000/回×6

・ 経費 ￥ 150,000 600,000×0.25

・ 予備費 ￥ 42,000

-----合計 ￥ 600,000.

7. その他

研修講師の略歴は下記のとおりである。

入江秀晃（いりえひであき）

早稲田大学紛争交渉研究所客員研究員 元（株）三菱総合研究所研究員

東京大学大学院農学系修士、法政大学大学院政治学修士。

米国等における裁判外紛争解決手続（ADR）について、主として人材育成の観点での調査に従事。
経済産業研究所 ADRを担う人材育成に関する研究会・ADRを担う人材養成試行プログラム作業グループメンバー（2003年度）（社）日本商事仲裁協会「調停人養成教材」企画の総合調整及び講師（2004年度～2006年度）（社）日本仲裁人協会、全国青年司法書士協議会、日本行政書士会連合会、中国四国メディエーションセンターなどで調停トレーニング講師を務める。

法社会学会会員。仲裁 ADR 法学会会員。NPO 法人日本メディエーションセンター会員。

松浦正浩（まつうらまさひろ）

東京大学公共政策大学院 客員講師

マサチューセッツ工科大学（MIT）都市計画修士号取得（1998年）

（株）三菱総合研究所（社会・公共系）を経て、2002年にマサチューセッツ工科大学 都市計画学科Ph.D.課程に進学し、2006年に同学科Ph.D.（都市・地域計画）取得。この間、Consensus Building InstituteやMIT-Harvard Public Disputes Program研究員など兼務する。

マサチューセッツ工科大学 Post Doctoral Fellow（2006年）を経て、2007年より現職。

篠田さやか（しのださやか）

オフィス・キュア代表・ファシリテーター

マサチューセッツ州立大学（心理学専攻）卒

マーケティングリサーチ会社、米国経済雑誌ビジネス・ウィーク東京支局を経て、1991年（株）都市計画設計研究所入社。都市計画コンサルタントとして、市民参加型まちづくりに関する調査、パブリック・インボルブメント（PI）実施計画、PIトレーニング（国土交通大学・地方整備局研修・自治体研修）等に従事する。2005年より現職。現在は、参加の場におけるファシリテーター、PIトレーニングやコミュニケーション研修講師を務める。

その他の活動：産業カウンセラー

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 7

1. 事業名称

「四国WS『市民参加の運営技術 - 経験とその評価 - 』」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

最近、多くの公共事業に取り入れられている「市民参加」については、事業に関わる行政及びコンサルタントの間でその運営方法やノウハウについて非常に関心が高まってきている。

本事業は平成16年から開始して今年で4回目の開催となるもので、多様な経験とスキルが必要となっている市民参加や合意形成の現場において、技術者同士が事例を発表・評価し、会議技術や合意形成支援技術等の向上を図るとともに、人的ネットワークの広がりを持つことを目的とする。

また、本事業にPI-Forumが関与することで当法人が行う活動に対する賛同を得ることができると考え、新規会員の獲得や新たな事業展開に寄与するものとする。

3. 事業概要

1) 概要

四国の市民参加や合意形成に係る事業に関与した技術者が集まり、各県の事例を発表・質疑・評価するイベントの第4弾として開催。四国四県の持ち回りで開催しており、今年度は香川県で開催を予定。

これまで同様、(社)土木学会四国支部、(特)PI-Forum、(特)コモنزの共催で事業を実施することとする(主催は事業費の負担状況により、土木学会四国支部となる)。

PI-Forumは、本事業に関する会場の手配、参加呼びかけ(広報)、当日運営全般について支援することとし、記録作成や一部司会進行等については、共催の土木学会四国支部メンバーやコモنزの協力を得ることとする。

2) 成果物

- ・ イベント報告レポート

PI-ForumのHP上にアップするための当日感想などを踏まえた簡易なレポートを作成

- ・ 当日発表事例データ整理

発表者の承諾が得られた事例発表データについて、HP上にアップできる形で掲載

3) スケジュール(開催日程については土木学会四国支部と要調整)

- ・ 1月初旬～中旬:発表メンバー選定(原則四国4県で活動する技術者、研究者が対象:各県1～2名(計4～6名))
- ・ 11月～12月:開催準備
- ・ 12月下旬～1月上旬:開催
- ・ 3月中:報告

4. 実施体制

- 1) プロジェクトリーダー：小松一之（PI-Forum 事務局）
- 2) プロジェクトチーム
 - ・ 土木学会窓口責任者：山中英生（徳島大学教授）
 - ・ 企画協力支援予定者：澤田俊明（(特) コモンズ）
 - ・ プロジェクト推進事務局：吉井・小松（88ModelVillage）
 - ・ 現場運営協力者：土木学会関係者（今後調整）

5. 予算計画

事業収入：0万円

事業支出：0万円

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 8

1. 事業名称

「PI 指針と倫理・評価に関する規定検討事業」

2. 事業の目的及び事業計画上の位置づけ

事業の目的は以下の2点である。

H18年度までに多方面からのインプットを得て「PI 指針(v4)」を作成するに至ったが、H19年度はそのエッセンスである「PI 評価項目」を精査してファイナライズするとともに、その基本的な考え方を広く社会に提供するための解説と、WEBにおける簡易型PI 評価ツールを作成する。

H18年度までに多方面からのインプットを得て「PI 倫理規定(v1)」を作成するに至ったが、H19年度はそれを、医療分野や法曹分野における倫理規定とも比較対照しつつ、バージョンアップする。

3. 事業概要

1) 概要

A. 「PI 評価項目」のファイナライズと解説の作成

H18年度に作成した「PI 評価項目」をもとに、内容を精査し、この解説を作成する。

B. WEB版の作成とPi-Forum サイトへのアップロード

上記ファイナル版を簡易自己評価用WEB版として再構築し、これを Pi-Forum サイトへアップロードする。

C. 倫理規定(案)のバージョンアップ

医療や法曹という他分野の経験も参照しつつ、PI 指針にもとづいて実務を行う上で障害となり得る倫理上の問題点を想定し、PI 実務者が遵守すべき倫理の方向性をまとめた倫理規定をバージョンアップする。

2) 成果物

「PI 評価項目」(ファイナル) 及びその解説

「Pi-Forum が考えるPI 実務者のための倫理規定(v2)」

簡易自己評価用WEB版「Pi-Forum が考えるPI 評価規定(案)」

3) スケジュール

- ・ 8月、9月: 「PI 評価項目」の精査
- ・ 10月: 「PI 評価項目」の解説作成
- ・ 11月: 「PI 評価項目」と解説の公表及び「倫理規定」に関する検討(年次セミナー)
- ・ 1月: 「PI 評価項目」WEB版をアップロード

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー
城山

2) プロジェクトチーム：
矢嶋、篠田

5. 予算計画

事業収入：計 20 万円（研究助成）

事業支出：計 20 万円（作業人件費 15 万円、医療法曹関係者講師謝金 5 万円）

6. その他考慮事項

・ P I 評価項目及び倫理規定は客観性を高めるために、客観的な策定手続きが不可欠。プロジェクトリーダーは実務者を避ける。

以上

特定非営利活動法人 PI-Forum (ピーアイ・フォーラム)
事業提案書 (特定非営利事業) No. 9

1. 事業名称

「現場支援事業の試行」

2. 事業目的

現場支援事業を円滑に実施していくため、試行的に幾つかの現場支援業務を受託し、体制、ルール、サービスメニュー等の改善を図る。

3. 事業概要

1) 概要

昨年度は、「現場支援事業の基盤づくり」として、「研修講師業務」と「研修およびCSRに関する基礎調査業務」の2件を受注した。この現場支援業務を踏まえ、注文書、請書、計画書などの契約書類、人件費等の支払い方法に関する内規(案)、契約までの流れ(案)、サービスメニュー(案)などが整理された。

今年度は、これらの案をさらにブラッシュアップするため、試行的に幾つかの現場支援業務を受託し、ニーズに応じた改善を図る。また、PI-Forum 独自の研修プログラム開発についても検討する。

2) 成果物

- ・ 現場支援事業を支える体制
- ・ 契約までの流れと必要書類の雛形
- ・ サービスメニュー(研修プログラムを含む)
- ・ 現場支援業務に係る内部規約(報酬、著作権等の権利関係、本業との兼合いなど)
- ・ 営業ツール

3) スケジュール

- ・ 6 - 4月 可能な範囲で受託し改善をはかる。
- ・ 適宜、体制、契約方法、内部規約など、理事・事務局メンバーで検討する。

4. 実施体制

1) プロジェクトリーダー：水谷香織

2) プロジェクトチーム：城山、矢嶋、篠田、小松

5. 予算計画

事業収入：計 1,000,000 円 受託案件による。

事業支出：計 1,000,000 円

謝金：30万円、外注費：20万円、交通費：10万円、

事務費：10万円、一般管理費：30万円

収支差額：0円

6. その他考慮事項

- ・ 今年度は、やや積極的に営業を行う。
- ・ 事業を受託し、適宜改善をする。
- ・ 受託事業試行の規模は、50万円程度×数件を目標とする。

以上